



写真:シロモジ (撮影:平成23年4月28日)

「シロモジ」

シロモジは、霧島山の各地で見られます。花をよく見ると小さな花がいくつも集まっています。

長い冬が終わり、えびの高原は花の季節を迎えようとしています。霧島山の春を彩る花には黄色い花が多くみられます。最初に咲き始めるのはマンサク、やがてシキミやキリシマミズキが咲き、足元には小さなツルギジムシロなどが明かりをとすように花を開きます。その中でも霧島山の各地で普通に見られるのが、シロモジの花です。一見すると地味ですが、よく見ると小さな花がいくつも集まっています。

シロモジは、和菓子のように使われるクロモジの仲間で、枝や葉は良い香りがします。クロモジ属には、シロモジとよく似たアラチャンやダンコウバイなどがあります。庭木に植えられることもあります。霧島山で見られるのはほとんどがシロモジです。

シロモジには、雄株と雌株があり、雌株は秋に直径1cmほどの黄緑色の球形の実をつけます。葉は、先が3つに分かれていて、恐竜の足跡のような見分けやすい形をしています。秋には、鮮やかな黄色に紅葉します。1年を通じて楽しませてくれる木です。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

シロモジ クスノキ科クロモジ属
Lindera tritoba